

川本町スポーツ協会

—— これまでのあゆみ

当協会は、川本町における各種スポーツの普及・発展を図ることや、町民の体力向上とスポーツ文化の発展を目的として、昭和44年に「川本町体育協会」として設立され、これまで半世紀にわたり、地域の体育行事の開催や各種競技団体の活動支援を中心に活動してきた。中でも「川本町親睦野球大会(65回)」「川本町親睦バレーボール大会(48回)」「川本町一周駅伝競走大会(68回)」は、町を代表する歴史ある大会として開催しており、新型コロナウイルスの影響により中止した年もあったが、継続して開催をしている。

また、令和5年9月には、国や県の動向に合わせて、より運動を楽しむという表現とするため「川本町スポーツ協会」へと名称変更をし、引き続き川本町のスポーツ振興に努めている。



第48回川本町親睦バレーボール大会



第65回川本町親睦野球大会で優勝の因原自治会Aチーム

—— 現在の状況

当協会は、現在19の競技団体が構成されているが、町全体の人口減少及び高齢化等に伴い、各団体の競技人口の減少や財政的理由などにより、現在は、陸上・野球・バレー・柔道・剣道・スキー・ゲートボール・ペタンクの8団体が実際に活動をしている状況である。

また、当協会が主催する大会も人口減少のあおりを受け、自治会単位で参加する大会の参加チームも年々減少してきており、近隣の自治会と合同で参加できるなど、参加要件を緩和するなどしながら、少しでも多くの住民の方が参加できるよう工夫をし、開催の継続を維持している状況となっている。

一方で、総合型地域スポーツクラブである「かわもとスポーツクラブ」が平成23年に発足し、子ども達の指導をメインとしたジュニアスポーツの活動を通して、新たな大人のクラブチームができるなど、社会体育全般の活動の底上げが図られている。

町では、誰もが気軽に楽しめる「ポッチャ」などのニュースポーツを中心に、公民館活動や地域サロンの場、イベント等で実施し、多くの方がスポーツに触れる機会を創出している。

このように、川本町では、スポーツ協会・スポーツクラブと行政がそれぞれの役割を担いつつ、協力してスポーツ振興を進めていく本町オリジナルのスタイルが確立されている。



スポレク広場

—— これから

今後もスポーツ協会・かわもとスポーツクラブと町とが一体となり、創意工夫しながら活動を続け、各種スポーツ団体の存続への支援や競技人口の確保に努めていく。

また、地域住民が参加しやすい環境整備を心がけ、本町ならではの活動を進めることで活力を生み出し、誰もが参加できる生涯スポーツの推進と健康増進の一端を担っていきたいと考えている。

2030年に開催予定である「島根かみあり国スポ・全スポ」に向けて、関係機関と連携をしながら、選手の育成や環境整備、機運の醸成を図っていきたいと考えている。